

平成 18 年度第 2 回総合情報基盤センター運営委員会議事要旨

日 時 平成 19 年 2 月 9 日 (金) 15 時 00 分～16 時 31 分
場 所 総合情報基盤センター会議室
出 席 者 木原委員長, 福田, 高井, 布村, 上木, 草薙, 大森, 古川, 小林, 田村, 田島,
藤田, 赤尾, 櫻井, 中川, 山田の各委員
欠 席 者 近藤, 舟見の各委員

議事に先立ち, 新委員 (山田委員) の紹介があった。

1. 前回議事要旨の確認

委員長から, 前回 (平成 18 年 1 月 27 日開催) の議事要旨について確認があり, 原案のとおり了承された。

2. 審議事項

(1) 教員人事について

(人事に関する事項のため公開しない)

(2) センター規則等の改正について

委員長から, 前回委員会においてセンター長選考規則の改正について提案があったので意見を伺いたい旨発言があり, 引き続き, 福田委員から, 現センター長選考規則ではセンター長として求める人材に制限が掛かるため, 第 2 条第 2 項の文中「情報に関する専門的知識を有する」部分の「専門的」を削除する提案を行う旨説明があった。

種々意見交換の後, 委員長から, 今回の意見を参考に次回委員会までに改正の可否についてご検討いただき, 次回委員会で改めて審議願いたい旨発言があった。

なお, 審議の中で, 次のような意見があった。

- ・センター長は, 情報に関する実務経験が無いとセンターを運営していけないので, 「専門的」という言葉が有っても問題ない。
- ・センター長は, 必ずしも最先端の専門的知識を有する必要はない。最先端の専門的知識は, センターのスタッフが有していればよい。
- ・「センターを運営する知識を有する」としてはどうか。
- ・センター長は, 技術よりマネジメント能力が必要である。
- ・センター長候補者選考委員会で候補者を選考するので, 各委員が「専門的」という言葉をどのように判断するかが問題になる。
- ・「専門的」という言葉によって, 広く人材を求める際の妨げとなることを避けたい。
- ・センター長となる人材を求める間口を広げる意味で, 「専門的」は無い方がよい。
- ・「専門的」の定義が曖昧であるので, 不要と思う。
- ・「専門的」という言葉を厳格な意味ではなく, センター長に相応しい位の意味で捉えている。
- ・センター長となる人材をセンター内に求めるかセンター外に求めるかによって違うが, 「専門的」という言葉は使わなくてもいいのではないかと。

(3) 端末室の印刷課金について

委員長から、情報教育用端末室内のプリンタ出力に関わる制限及び課金について、資料に基づき説明があり、種々意見交換の後、当面は、現在の枚数制限の方式を継続することとし、制限枚数を超えて印刷したい学生に対応するため、各学部でも印刷できる環境を検討してもらうことにする。また、キャンパス共通にプリペイドカード等を用いて利用できる機器の導入を検討することとした。

3. 報告事項

(1) 不正アクセスについて

(センターの管理運営に支障を来す恐れがあるため公開しない)

配布資料

- 資料 1 選考委員会報告書
- 資料 2 富山大学総合情報基盤センター長選考規則
- 資料 3 情報教育用端末室内のプリンタ出力に関わる制限及び課金について
- 参考資料 1 国立大学法人富山大学教員選考基準（平成 19 年 4 月 1 日実施）
- 参考資料 2 富山大学総合情報基盤センターの教員選考規則
- 参考資料 3 総合情報基盤センター教員資格審査基準に関する申し合わせ（平成 19 年 4 月 1 日実施）
- 参考資料 4 富山大学総合情報基盤センター規則
- 参考資料 5 富山大学総合情報基盤センター運営委員会規